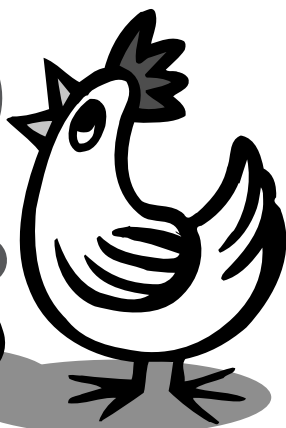


サンプルで学ぶ  
VB.NET



瀬戸 遥 SETO, Haruka  
<http://www.big.or.jp/~seto/>  
<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>

# Visual Basic .NET コッコ 倶楽部

第11回

## オリジナルCDプレイヤーを作成

Level



Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- ASP.NET
- Other:

↓  
Visual Basic 2005 Express Edition  
Windows Media Player 10

Samples

この記事で取り上げたソースコードおよび  
サンプルプログラムは、  
<http://www.shoeisha.com/mag/windev/>  
からダウンロード可能です。



## Visual Basic 2005にチャレンジ

今月から、Visual Basic 2005 Express Edition (以下VB2005) を使ってプログラムを作成します。VB2005になって

IDEの見た目も変わり、VB.NET2003 を使っている方はちょっと戸惑うかもしれませんが、ぜひVB2005をダウンロードし、この記事を読んでVB2005の操作を試してみてください。

図1: 作成するCDプレイヤー



今月は、Windows Media Playerコントロールを使って、オリジナルCDプレイヤーを作成してみます (図1)。



## Windows Media Player コントロールの基礎知識

Windows Media Playerコントロールについては、本連載の第8回でムービープレイヤーを作成する際に使用しました。もちろん、このコントロールはムービーだけでなくCDやDVDの再

生も可能な機能を搭載しています。

今回は、その中から音楽用CDを再生する機能の使い方を紹介します。音楽用CDを再生するには、事前に次のチェックが必要になります。

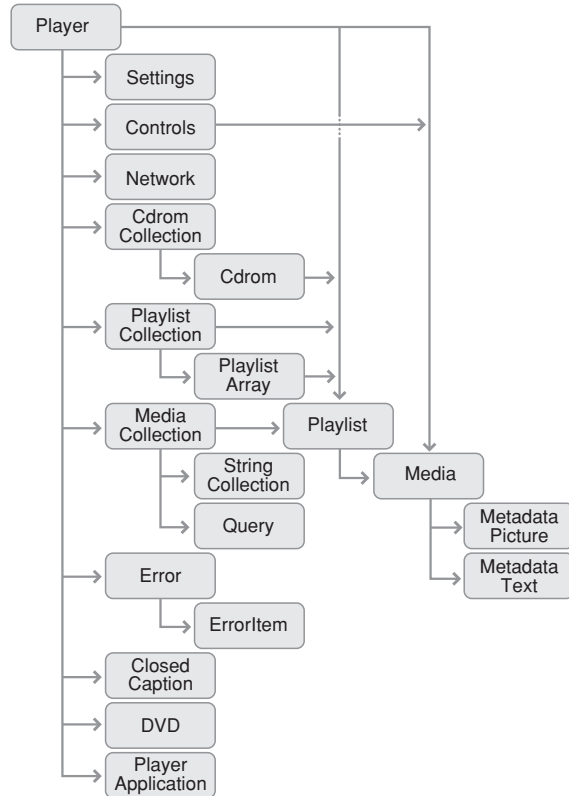
- ① 音楽用CDを再生できるCD-ROMドライブがあるかどうか
- ② CD-ROMドライブに挿入されているのは音楽用CDなのかどうか

このようなチェック処理に合わせて、Windows Media Playerコントロールのオブジェクト構造も、機能ごとに分かれて構成されています(図2)。

この中のCdromCollectionコレクションは、コンピュータに搭載されているCD-ROMドライブを扱うオブジェクト群で、そのうちControlsオブジェクト(コード上ではCtlcontrolsオブジェクト)は、音楽用CDの操作を行なうオブジェクトです。他のオブジェクトについてはコードを実装する中で説明していきます。

なお、Windows Media Playerコントロールを使用するには、ご使用のコンピュータに「Windows Media Player」がインストールされている必要があります(本稿ではWindows Media Player 10を使用)。

図2: Windows Media Playerコントロールのオブジェクト構造



## まずはユーザーインターフェイスから

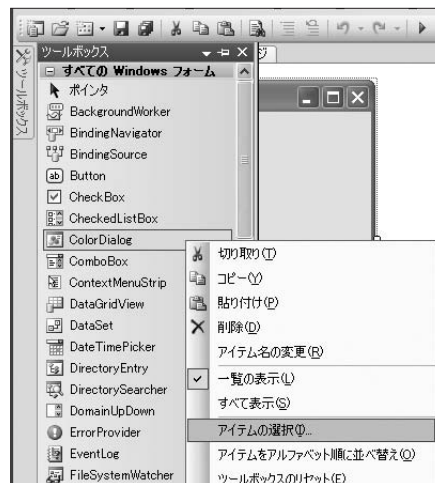
では、プログラムのGUIを作成しましょう。はじめてVB2005を目にする方もいると思いますが、フォームデザイナーの使い方はVB.NET2003と変わりません。

### Windows Media Playerコントロールを追加してみよう

まず、Windows Media Playerコントロールをツールボックスに追加します。第8回の記事でVB.NET2003での追加方法を説明していますが、VB2005でもその方法は変わりません。

ツールボックスの上でマウスの右ボタンを押し、ショートカットメニューから「アイテムの選択」を選びます(図3)。そして、表示されたダイアログボックスの「COMコンポーネント」タブをクリックし、「Windows Media Player」にチェックを入れて「OK」ボタンを押

図3: ショートカットメニューから「アイテムの選択」を選択



します(図4)。これで、ツールボックスにWindows Media Playerコントロールのアイコンが表示されます。